

## 臨時休業中の在宅勤務を新設！！

湘南教組は、この間コロナウイルス感染拡大防止のための休校措置にあたって、教職員の服務について各市町教委と交渉を続けてきました。

緊急事態宣言下において、教職員にも「在宅勤務」を新設することができました！！

### 湘南教組第301回臨時中央委員会採決結果

「第1号議案 湘南教職員組合第65回定期大会議案構成ならびに大会日程に関する件」

原案（書面開催）に 賛成 125 票 反対 0 票

## 湘南教組第65回定期大会を

## 成功させよう！



### 日程／5月13日(水) 場所／各分会 ※書面開催

今年度の湘南教組第65回定期大会は、臨時中央委員会で承認された通り、コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面での開催となります。定期大会は、2019年度のたたかひの総括を全代議員で確認しつつ、2020年度運動方針を決定する最高の議決機関です。例年通り藤沢市民会館での開催を模索してきましたが、組合員の安全を第一に考えて、書面開催を判断しました。5月13日までに執行部が各分会に訪問し、議案に対する質問、意見、また、修正案等のやりとりを行っていきたいと思います。

各分会代議員におかれましては、積極的な大会の参加をお願いします。湘南教組第65回定期大会を成功させ、2020年度運動方針を決定し、力強い前進をめざしましょう。

#### 〈定期大会までの日程〉

4月13日～24日	定期大会オルグ	
24日(金)	修正案締め切り	19:00までに書記局に提出
27日(月)	統一職場集会	質疑・意見受付開始
28日(火)	質疑・意見締め切り	19:00までに書記局に提出
5月7日～8日	修正案整理	※「採決」を要求する場合は 8日17:00までに書記局に連絡ください。
13日(水)	定期大会・統一職場集会	代議員による書面採決
15日(金)	採決用紙提出	19:00までに書記局に提出
20日(水)	結果報告集会	

## <憲法改悪・国家主義復活反対へのとりくみ>

安倍首相は、憲法改正を求める集会に寄せたビデオ・メッセージの中で「自衛隊が違憲かもしれないという議論の余地をなくすべきだ。自衛隊の明文化は国民的な議論に値する」と提案する意図を説明しました。森友学園 決裁文書改ざん問題、イラク派遣部隊 日報隠蔽問題、加計学園 「首相案件」問題、桜を見る会問題等々、数多くの疑惑があるなかで、現政権は国会軽視の姿勢を貫いてきました。そのような政権下での憲法改正の発議を何としてでも、阻止しなければなりません。

## <教科書採択へのとりくみ>

2020年度は、中学校全教科採択が行われます。湘南教組はこの間、「神奈川の教科書・採択問題にとりくむ会」（県とりくむ会）、「藤沢の教科書・採択問題にとりくむ会」（藤沢とりくむ会）に結集する中、現場教職員の意見が反映される採択制度の実現をめざし、とりくみをすすめてきました。2019年度の小学校教科書採択においては、湘南地区ではおおむね教職員や市民の意見が反映された採択結果であったと評価することができます。過去には、藤沢市において現場の意向を無視して、中学校社会科で育鵬社の教科書を採択した経緯があり、引き続き注視していく必要があります。みなさんで教科書を見て、現場教職員が使用しやすい教科書が採択されるよう具体的に意見を記入するようお願いいたします。

## <多忙解消へのとりくみ>

依然として、国・県・市町においても教育予算には人的配置や環境整備の十分な予算が確保されていない現状です。国段階では、時間外勤務の上限として「月45時間、年360時間」とすること、1年単位の變形労働時間制を適用することなどについて議論され、2019年度「改正給特法」が国会で可決されました。「改正給特法」は、

① 在校等時間の上限ガイドラインが指針化されること（2020年4月から適用）

② 1年単位の變形労働時間制を導入できるようにすること（2021年4月から適用）

の2つがポイントです。①については、そもそも時間外勤務360時間上限と認めることが間違いで、正規の勤務時間である7時間45分を前提とした業務を削減するための実効性のある施策をおこなわなければなりません。しかし、これまで動かなかった国が労働時間の縮減に向けて動き出したという点では、一定評価できます。また、②の1年単位の變形労働時間制については、年間を通した超過勤務の実態がある中では、まったく意味のない改革としか言えません。当然、湘南教組は導入に反対です。

引き続き、現場が実感できる多忙解消・働き方改革となるよう、国・県・市町に意見反映していきます。

## <組織拡大強化>

教職員の世代交代が進む中、2020年度は170名近い新採用、転任採用者を迎えました。組合運動の継承と働きやすい職場づくりをすすめていくためにも、組織の強化拡大は欠かせません。また、学校現場の課題や組合員の困難な状況の改善のためには、組織の人数や結集力が問われます。湘南教組は組織化を最重要課題として、今後も、各分会と連携することはもとより、組合員ひとり一人の立場にたって考え、とりくみをすすめていきますので、各分会での新採用、転任採用、未組合員の組織化をお願いいたします。